



立神峡だより

ようこそ第14回ふれ愛スタディin氷川へ

令和2年新年早々北海道の大空町から団員12人の学生や引率者3人と氷川町の団員15人が町内の施設や晩白柚の見学やイチゴ狩りなどの体験学習を行いました。

また、立神峡へは壮大な景観を誇る大絶壁に圧倒されながら吊り橋を恐る恐る渡りながら到着しました。一行はまず管理棟で概要の説明を受けた後、火打石を体験し、火の国熊本の由来などを熱心に学びました。その後、竹馬やミカン狩りに挑戦するなど和気あいあいと過ごしました。

中でも、火打石による火おこし体験は人気があり、興味深そうにまた真剣に取り組んでいました。



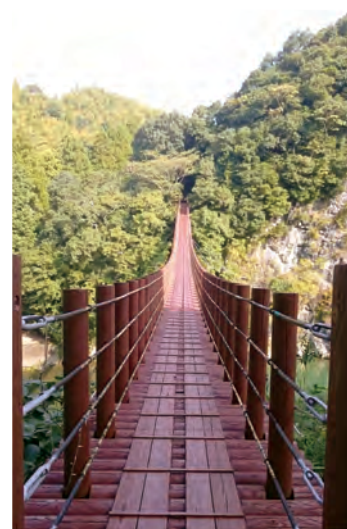
更なる紅葉スポットを目指して

立神峡は皆さまもご承知のように、紅葉スポットとしても熊本県下に知られております。昨年は紅葉の苗を200本ほど移植しました。それでも岸壁や管理棟周辺は赤色が不足しており、今回は、紅葉が終わっても紅い葉が1月頃までも色づいているハゼに着目し、その苗木を100本以上移植しました。また、岸壁には苗や種を入れた団子状にしたハゼの実などを投げ入れ、5年後や10年後には岸壁にも紅葉が色づくように考えています。この立神峡の景観は他所には無い素晴らしい景観であり更なる景観を保つためにスタッフ一同努力しており、紅葉の立神峡を内外にアピールするべくこれからも広報して行きたいと思っております。



インスタグラム #立神峡 を大いに活用

#立神峡 で検索すると実に1,000件以上の写真が出てきます。これは、立神峡を訪れた観光客や宿泊客がそれぞれの角度からその風景などを撮影し、インスタグラムで披露しているものです。年間宿泊客が9,000人近くに上り、紅葉見物や水遊びに訪れる観光客はその何倍にも達します。その観光客の発信力が氷川町を訪れる人たちの増加の要因とすれば、これをうまく活用しないに越したことはありません。今年、この #立神峡 のシールを大量に作成し、トイレやログハウス・ロッジ・吊り橋などありとあらゆる場所に貼付して、まずはそれぞれが見てもらい、そして、見た人がまた発信してもらおう。といった具合にネット配信の一環として取り組む考えです。町内の皆さまもぜひ #立神峡 でまずは検索してみてください。より多くの観光客を呼び込み、帰りには商店街で買い物したり、食事をしたりと交流人口の拡大へと結び付けたいと考えております。



【お問い合わせ】 立神峡公園管理棟
☎ 0965-62-1543 FAX0965-62-1546 (8:30~17:30 火曜定休日)

ホームページ
<http://tategami-camp.com>

町民文化

短歌

初生りのレモンや先ずは神様に
残り焼酎に浸していただく
北野津 宮本 末秋

ひらひらと冬蝶飛びほの青き
庭のくらがり猫とながむる
北野津 井田 道寛

異常気象桜も狂い花咲かす
国も桜を見たか見らぬか
西野津 古崎スエノ

初空のばらばらに飛ぶ初雀
右に左に霞空
西野津 古崎 栄子

指折りて亡母の回忌待ちて来る
孫と揃いて回忌安堵の食囲む
南鹿野 尾崎 京子

ひとり欠け二人欠ける短歌会
世の常なれど老ひの身悲し
西上宮 村内 一誠

外国の人々の為不毛の地を
緑に変えて侍は逝く
吉 本 高瀬 道昭

元朝の空に向かひて深呼吸
令和の年を清しく生きむ
吉 本 高橋 澄子

俳句

移り行く変る世の中その速さ
駆抜荒る竜巻のごと
上鹿島 前村 俊子

大晦日振り返りつつ暦替
北野津 宮本 末秋

落葉搔き有象無象の音の間
北野津 井田 道寛

初夢や宝船にて舵を取る
西野津 古崎スエノ

亡母の夫子連れ来る回忌法要
南鹿野 尾崎 京子

年賀状人を動かす力あり
町 香山菊童子

元旦のお屠蘇飲むたる意識す
西野津 古崎 栄子

初晴れや故郷の山仰ぎ見る
吉 本 高橋 澄子

寒椿小鳥の遊ぶひと日かな
西上宮 村内 一誠

日の丸や令和元旦風静か
上鹿島 前村 俊子

八十路の旅桜も嬉し寺反笑み
今 北村 道子

詩

お正月娘孫との楽しい出会い
元氣な姿抱きしめて幼き頃を思い出す

東上宮 H, O

君に似し 姿を街に見るときの

心踊りを 哀れと思へ

法道寺 ほんだ汀

私はこの短歌の作者を知らない。知りたと思うことより知ることを拒んで来たと言った方がいいかも知れない。その時、私は封書に託したその歌に、その人の心思いを垣間見つつ我が胸の奥深く熱く鼓動したひとときを思い出す。

しかし、その昂ぶりの心の片隅でこの歌は何処かで聞いたことがあるような記憶が私を支配し思いを託した心情とのほさまに戸惑いのひとときが交錯したことを思い出す。

その後、音信も途絶え心の空白も時の過ぎるままに歳月のなかに埋もれ、出来事の終章を迎えてひさし。

とある日、私は雑踏の街角のデパートメントストアーの大きな垂れ幕の文字を見やり、はたと足取りの乱れに立ち止まっていました。

それは目にも鮮やかに映り、紛れもなくあの短歌そのものだったのです。ふーっと大きなため息とともに青春のときめきと感慨を再現していました。

青年の髪数知れず 微かなる 帆柱のふるえつつ 夏来る……

人権擁護・救済センター 電話相談・面談のご案内

- 日時 2月3日(月)、10日(月)、17日(月)
11時～13時
- 場所 八代教育会館(八代市大手町1-59-2)
- 内容 人権擁護・救済に関する相談、改善、解決
- 費用 無料

問 人権 NPO ちなもい ☎0965-32-3030

投稿について

- ・楷書で記入し、漢字には全て読みがなをふって投稿してください。
- ・内容確認する場合がありますので電話番号を明記してください。
- ・毎月8日必着
- ※掲載は1人あたり短歌・俳句・詩のそれぞれ一句ずつとなります。
- ※遅れて投稿された場合掲載できない場合があります。あらかじめご了承ください。

投稿先
〒869-4814 氷川町島地642番地
企画財政課 企画係
☎0965-52-5850